

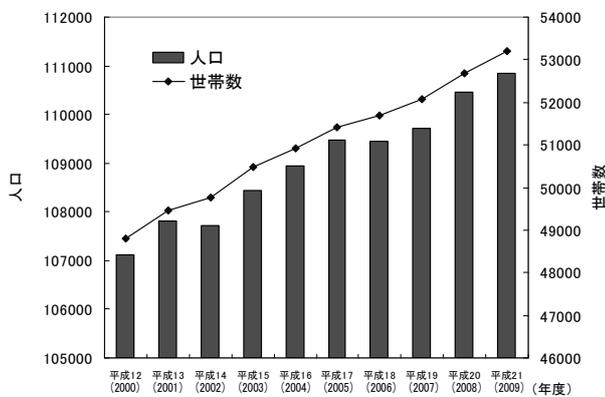
8-2 市の社会的特性

8-2-1 人口・世帯数

小金井市の人口は平成 21 年（2009 年）8 月 1 日現在で 111,381 人、53,650 世帯（住民基本台帳人口）である。過去 10 年間における小金井市の人口及び世帯数を以下に示す。

小金井市の人口及び世帯数は増加傾向にある。また、核家族化・単身世帯の増加により、人口の伸びに加えて世帯数が増加している。

◆ 人口・世帯数の経年変化



☆ 各年 1 月 1 日現在

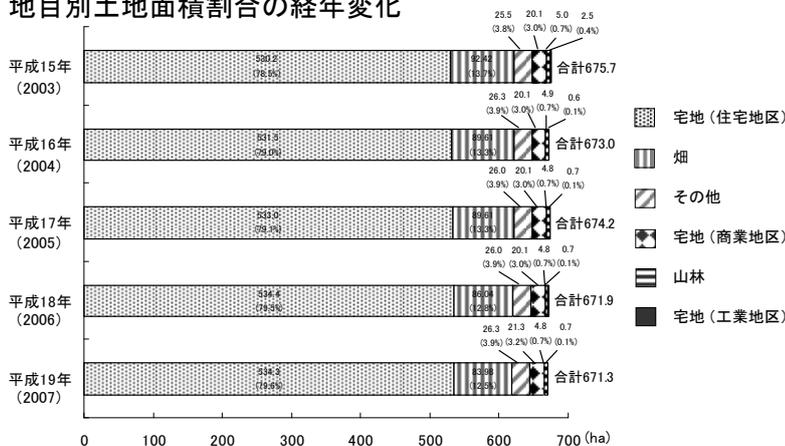
出典：東京都ホームページ 東京都の統計（住民基本台帳に基づく）より作成

8-2-2 土地利用

小金井市における地目別土地面積割合の経年変化を以下に示す。

小金井市は市域の約 8 割が宅地（住宅地区）として利用されている宅地都市であり、商業地区・工業地区の割合が少なくなっている。また、市内の住宅地区の割合が増加傾向にあるのに対し、畑や山林の割合は減少している。

◆ 地目別土地面積割合の経年変化



☆ 各年 1 月 1 日現在

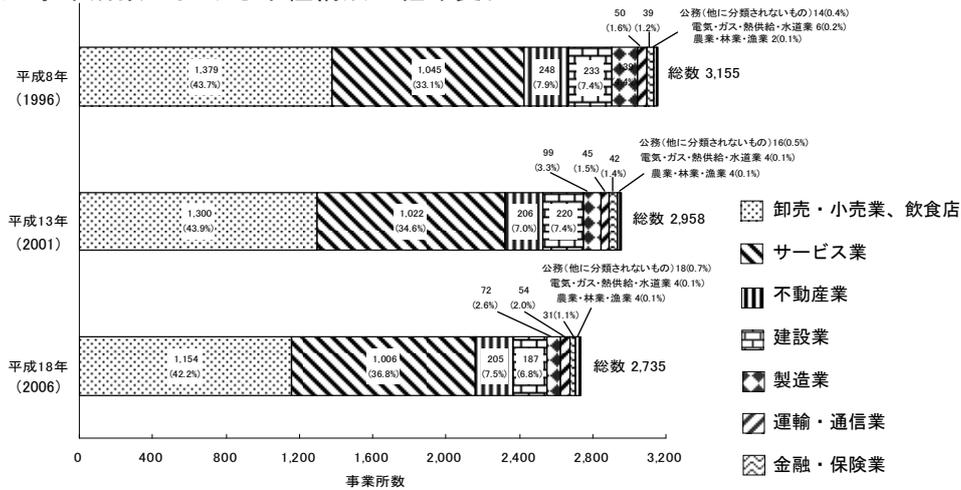
出典：「多摩地域データブック」（平成 16～20 年）より作成

8-2-3 産業構造

①業種構成の経年変化

小金井市の業種構成の経年変化について事業所数、従業員数を用いて以下に示す。
事業所数、従業員数共に卸売・小売業、飲食店、サービス業の占める割合が高い。
平成8年（1996年）から平成18年（2006年）の10年間において、小金井市の業種構成に大きな変化は見られない。

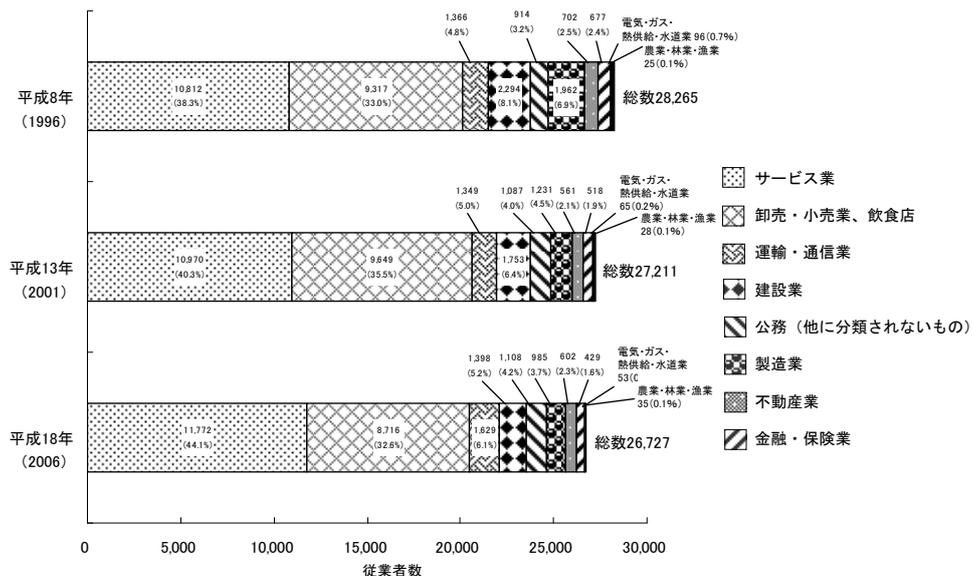
◆ 事業所数における業種構成の経年変化



☆ 各年10月1日現在
 ☆ 括弧内は年度全体に占める割合を示している。
 ☆ 平成18年は「卸売・小売、飲食店」には宿泊業を含む。
 ☆ 「農業・林業・漁業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「公務(他に分類されないこと)」は事業所数が少なくグラフでは表示出来なかったため、凡例から除外した。

出典：「平成19年度版 こがねいのとうけい」より作成

◆ 従業員数における業種構成の経年変化



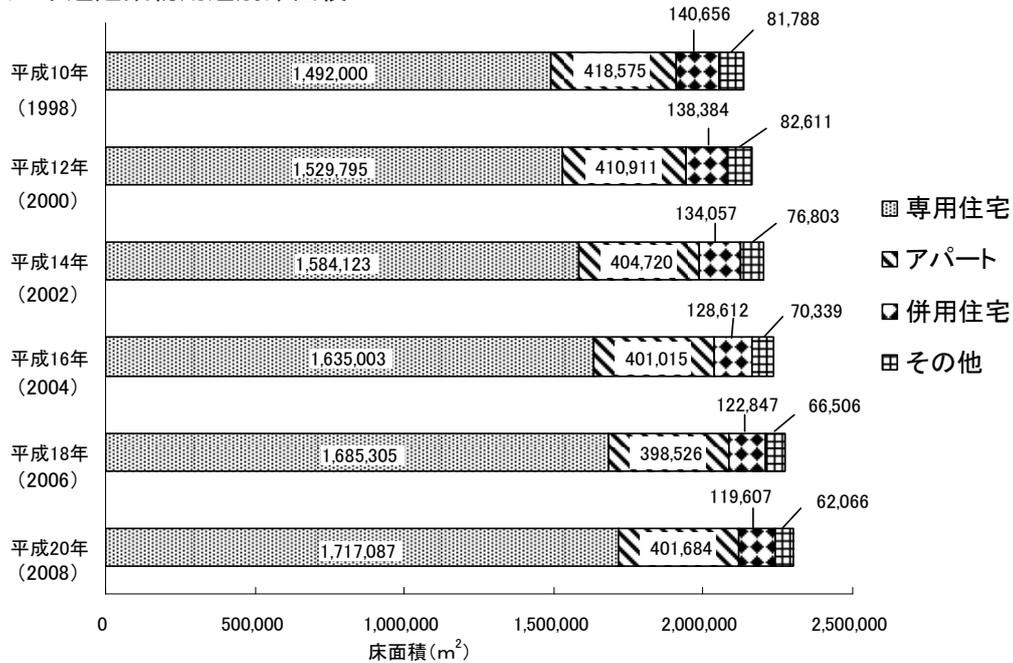
☆ 平成18年10月1日現在
 ☆ 平成18年は「卸売・小売、飲食店」には宿泊業を含む。
 ☆ 「農業・林業・漁業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」は従業員数が少なくグラフでは表示出来なかったため、凡例から除外した。

出典：「平成19年度版 こがねいのとうけい」より作成

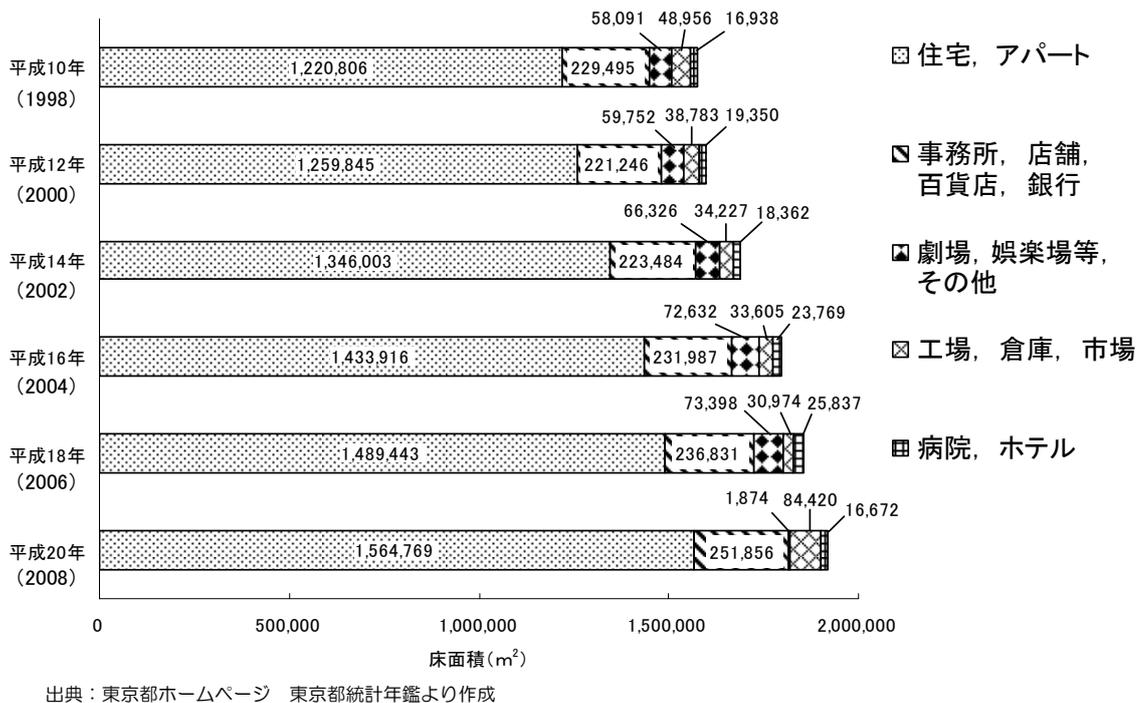
②建物用途別の延床面積の経年変化

小金井市における、木造及び非木造建築物の用途別床面積の経年変化を以下に示す。
木造建築物では専用住宅の占める割合が年々増加している。非木造でも住宅、アパートの占める割合が年々増加している。

◆ 木造建築物用途別床面積



◆ 非木造建築物用途別床面積



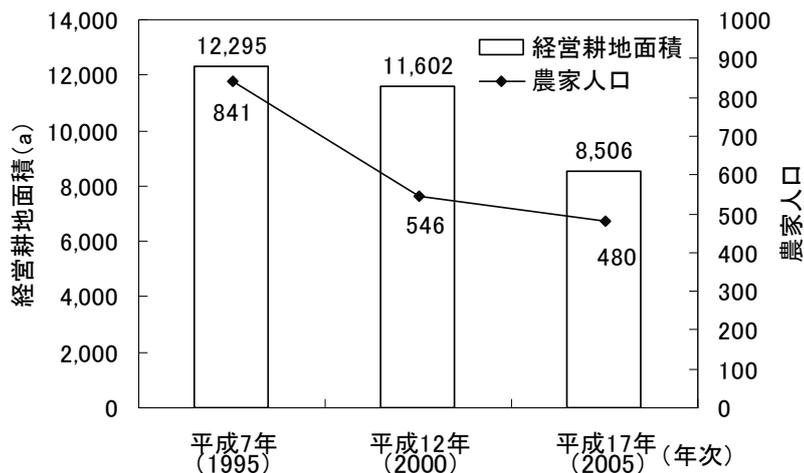
③農業

小金井市における農家数、経営耕地面積の経年変化を以下に示す。

農家人口は平成7年（1995年）から平成17年（2005年）の10年間に平成7年（1995年）の6割程度まで減少している。経営耕地面積も同様に平成7年（1995年）の7割程度まで減少している。

小金井市に林業、水産業の事業所はない。

◆ 農家人口、経営耕地面積の経年変化



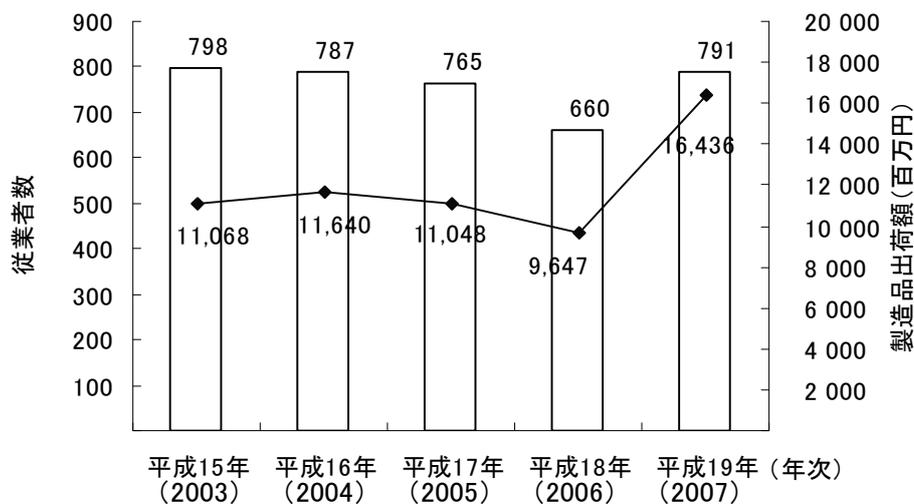
出典：「東京都統計年鑑」（東京都総務局統計部）より作成

④工業

小金井市における工業の従業者人口及び出荷額の経年変化を以下に示す。

従業者人口及び出荷額は平成18年（2006年）に減少しているが、平成19年（2007年）には回復している。

◆ 従業者人口、出荷額の経年変化（従業者4人以上）

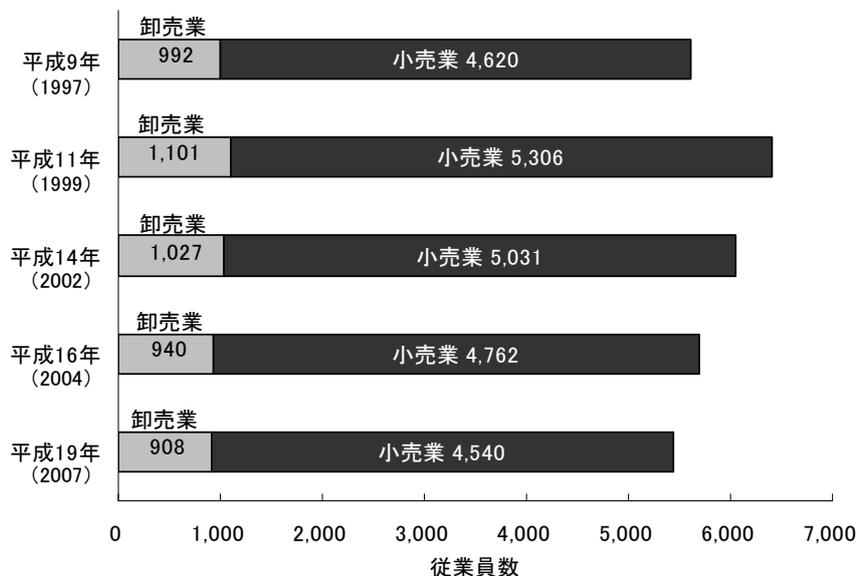


出典：「東京の工業（平成19年調査）」より作成

⑤商業

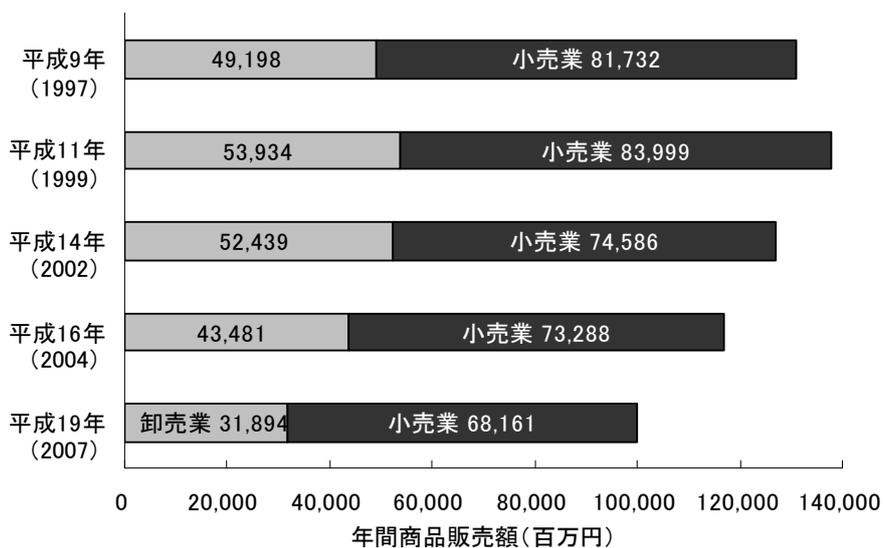
小金井市における、業種別の従業員数及び年間商品販売額の経年変化を以下に示す。
従業員数、年間商品販売額共に平成11年（1999年）をピークに減少傾向にある。
これは卸売業、小売業共に同じ傾向を示している。

◆ 従業員数の経年変化



出典：「商業統計調査報告」（東京都総務局統計部）より作成

◆ 年間商品販売額の経年変化



出典：「商業統計調査報告」（東京都総務局統計部）より作成

①主要道路と鉄道の状況

小金井市の主要道路と鉄道の状況を以下に示す。

鉄道はJR中央線と西武多摩川線が走っており、主要道路は表に示した16路線である。

◆ 都市計画道路図



出典：「こがねいデータブック 2008」

◆ 都市計画道路一覧

路線級	街路番号			街路名称	起点	終点	幅員(m)	整備状況
	等級	種別	番号					
1	3	1	6	東京立川線	梶野町3丁目	貫井北町3丁目	45~49	
2	3	2	2	東京八王子線	前原町1丁目	貫井南町1丁目	30	整備済
3	3	4	1	三鷹国分寺線	東町1丁目	貫井南町4丁目	16	
4	3	4	3	新小金井貫井線	東町4丁目	貫井南町3丁目	16	一部整備中
5	3	4	4	小金井日野駅線	本町5丁目	貫井北町5丁目	16	一部整備中
6	3	4	7	府中清瀬線	前原町5丁目	貫井北町3丁目	20	一部未整備
7	3	4	8	新小金井久留米線	東町4丁目	梶野町2丁目	16	一部整備中
8	3	4	9	東小金井駅北口線	梶野町5丁目	梶野町5丁目	20	整備中
9	3	4	10	東小金井駅南口線	東町4丁目	東町4丁目	16	
10	3	4	11	府中東小金井線	東町5丁目	緑町2丁目	18	一部整備中
11	3	4	12	多磨墓地小金井公園線	前原町4丁目	緑町3丁目	16	一部整備中
12	3	4	13	小金井久留米線	本町5丁目	桜町2丁目	16	一部整備中
13	3	4	14	小金井駅前原線	本町6丁目	前原町4丁目	16	一部整備中
14	3	4	15	府中国分寺線	貫井南町5丁目	貫井南町4丁目	16	
15	3	4	16	東小金井駅北口東西線	梶野町5丁目	梶野町5丁目	16	整備中
16	3	5	5	三鷹駅国分寺線	梶野町1丁目	貫井北町4丁目	12	整備済

出典：「こがねいデータブック 2008」

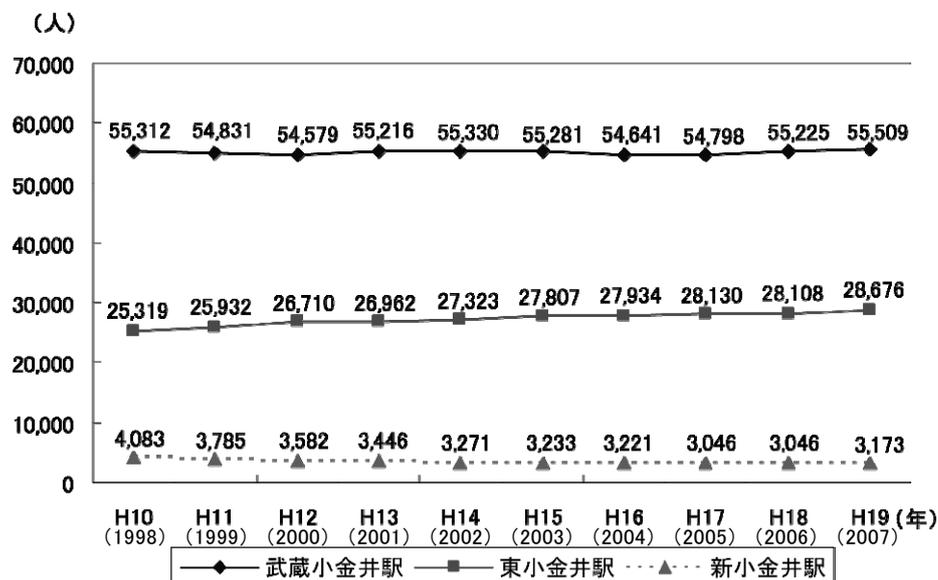
☆ 中央本線付属道路は除く

☆ 平成 21 年 3 月 31 日現在

②鉄道の利用状況

小金井市内の JR 中央線の武蔵小金井駅、東小金井駅、西武多摩川線の新小金井駅の 3 駅について 1 日平均乗客数の推移を以下に示す。

◆ 小金井市内 3 駅の 1 日平均乗客数の推移



出典：「こがねいデータブック 2008」

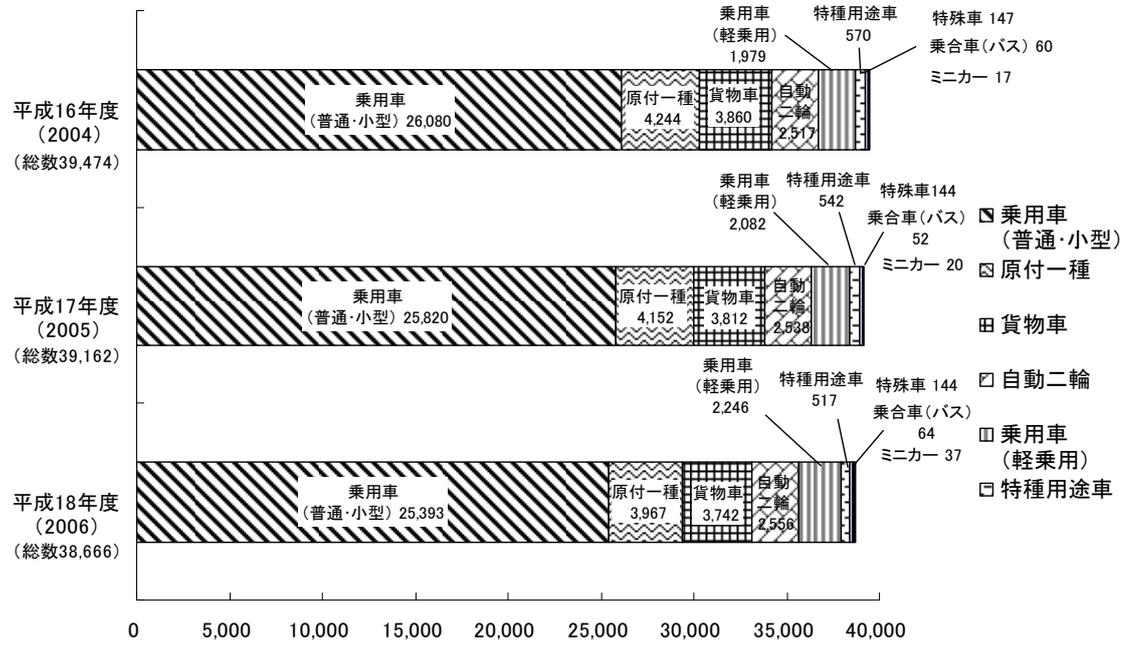
③車種別自動車保有台数

小金井市及び多摩地域の市部（26 市）平均の車種別自動車保有台数の経年変化をそれぞれ示す。

近年における自動車保有台数の傾向は小金井市、多摩地域の市部平均、共にほぼ横ばいであり、総数では小金井市は多摩地域の市部平均の 5～6 割程度の自動車保有台数である。

車種別に見ると小金井市、多摩地域の市部共に、乗用車（普通・小型）、貨物車、原付一種が減少傾向で、乗用車（軽乗用）、自動二輪が増加傾向である。車種の構成を見ても小金井市と多摩地域の市部に大きな差は見られない。

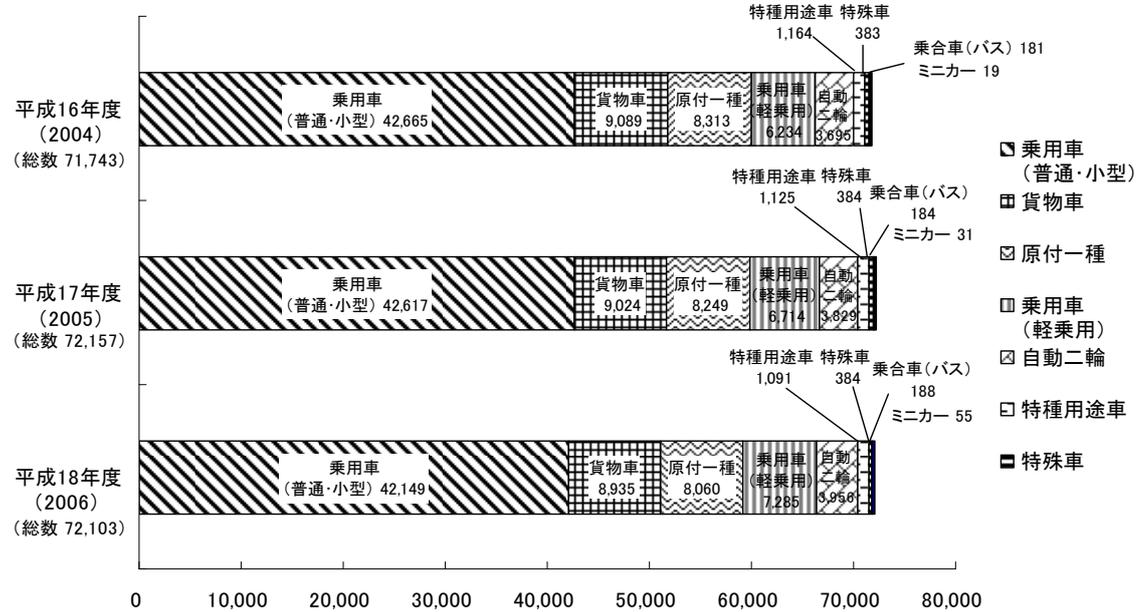
◆ 小金井市における車種別自動車保有台数の経年変化



出典：「多摩地域データブック（平成18～20年度版）」より作成

☆ 特殊車、乗合車、ミニカーは数が少ないため凡例から除外した。

◆ 市部における車種別平均自動車保有台数の経年変化



出典：「多摩地域データブック（平成18～20年度版）」より作成

☆ 特殊車、乗合車、ミニカーは数が少ないため凡例から除外した。

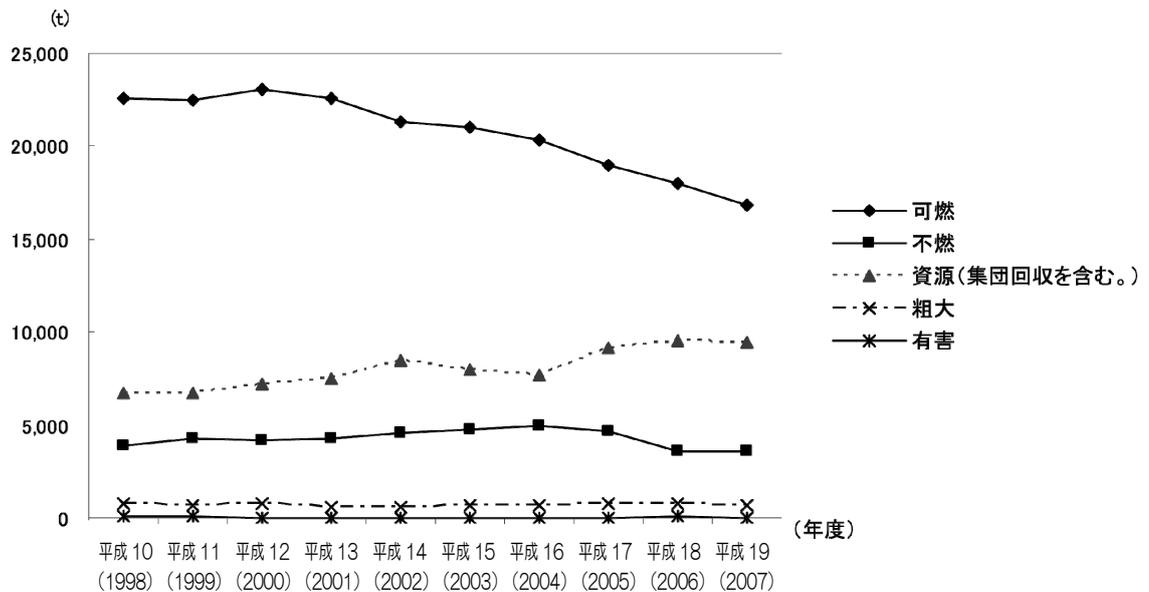
8-2-5 廃棄物の状況

①ごみの総排出量内訳の推移

小金井市のごみ総排出量の内訳を以下に示す。

可燃ごみ及び不燃ごみの排出量は近年減少傾向にあり、資源ごみの回収率は増加している。粗大ごみ及び有害ごみの排出量は、ほぼ横ばいである。

◆ ごみの総排出量内訳の推移

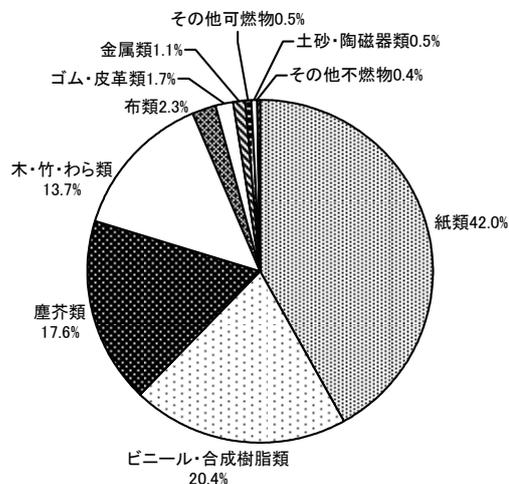


出典：「こがねいデータブック 2008」

②-1 事業及び家庭ごみの組成

小金井市の可燃ごみ（事業及び家庭ごみ）の組成分析結果を以下に示す。紙類が約4割、ビニール・合成樹脂類（プラスチック類）が約2割、厨芥類が約2割、木・竹・わら類が約1割となっている。

◆ 小金井市の可燃ごみ（事業及び家庭ごみ）の組成分析結果

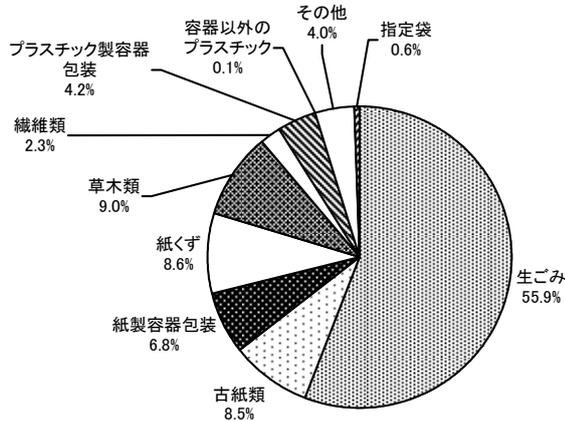


出典：小金井市調査データより作成

②-2 家庭ごみの組成

小金井市の可燃ごみ（家庭ごみ）組成分析調査結果を以下に示す。可燃ごみの半分以上を生ごみが占めており、プラスチック類は約 4.3%を占めている。

◆ 小金井市の可燃ごみ（家庭ごみ）組成分析調査結果



出典：「小金井市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」

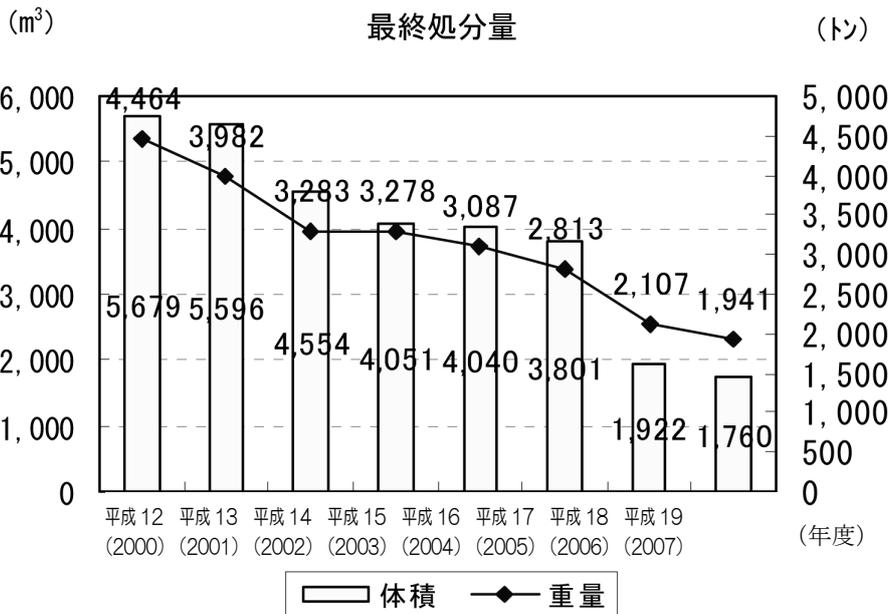
☆ 湿式・重量比・平成 17 年 10 月実施

③ごみの最終処分量の推移

小金井市におけるごみの最終処分量の推移を以下に示す。

最終処分量は、年々減少傾向にある。また、平成 18 年度（2006 年度）より主に多摩地区の焼却灰をエコセメントの原料として使用するエコセメント化施設が稼動したことにより、最終処分量は大きく減少している。

◆ 最終処分量の推移



出典：「小金井市環境報告書 平成 19 年度版」